

かしま 議会だより

第107号

令和3年9月議会号

令和3年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



タブレット型端末操作研修風景(全員協議会室)

定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問(10名)	P6～P11
決算審査特別委員会報告	P12
討論	P13
常任委員会報告	P14～P15
意見書	P16～P17
議会あれこれ・編集後記	P18



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

鹿島市議会
令和3年9月定例会 会期日程

1、会期
自 令和3年9月3日
至 令和3年10月6日

2、日程

【9月】

3日 開会
・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程

4日 休会

5日 休会
・議案の一括上程

6日 休会(議案研究)
・発言内容通告締切

7日 休会(議案研究)

8日 休会(議案研究)

9日 決算説明
・委員会付託

10日 議案審議、質疑、討論、採決
・議案審議、質疑、討論、採決

11日 休会

12日 休会

13日 休会(議案研究)

14日 休会(議案研究)

15日 休会(議案研究)

16日 決算審査特別委員会
(開会・現地視察)

17日 決算審査特別委員会
(一般会計／総務部ほか、建設環境部)

18日 休会

19日 休会

20日 休会

21日 決算審査特別委員会
(一般会計／教育委員会、市民部、産業部
ほか)

22日 決算審査特別委員会
(特別会計、公営企業会計、討論、採決)

23日 休会

24日 休会(議案研究)

25日 休会

26日 休会

27日 休会(議案整理)

28日 一般質問(4名)

29日 一般質問(3名)

30日 休会(議案整理)

【10月】

1日 一般質問(3名)

2日 休会

3日 休会

4日 休会(議案整理)

5日 休会(議案整理)

6日 委員会報告、議案審議
・質疑、討論、採決

閉会

次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第32号	※	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第33号	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第34号	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第35号	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第36号	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第37号	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	認定
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
諮問第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任
議員提案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
意見書第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…監査委員のため審議に参加できない

議案審議

議案第32号

令和2年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について



中村 和典 議員

質問 令和2年度において、新型コロナウイルス感染症対策として、約34億3400万円、7月豪雨の災害復旧費として約2億3500万円が支

出されているが、その財源内訳はどうか。

答弁 新型コロナウイルス感染症対策は、38事業の実施で、国からの交付金が34億1600万円、県からの交付金が1300万円、市の一般財源が370万円となっている。災害復旧費の財源内訳は、農地農業用施設1億

4000万円で、県費3160万円、市債2130万円、その他・一般財源8747万円となっている。土木施設は8972万円で、国が5000万円、市債3340万円、一般財源603万円となっている。

議案第39号

鹿島市消防団に関する条例の一部を改正する条例について



樋口 作二 議員

鹿島市消防団の定員・任免・職務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質問 今回の条例は、定員数の見直しなど消防団活動の重要性について配慮した改正になっているが、報酬が団員の個人口座に振り込まれると、従来の分団活動に支障が出るのが予想される。分団からの要望があれば直接分団に支払うことがで

きるのか。
答弁 消防団員への報酬の支払いは、国の検討会や県部局との協議を経て決定され、法律上団員各個人への報酬となるが、地域の実情によって改正が必要であれば検討していきたい。

議案第40号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



稲富 雅和 議員

質問一 新年度予算にも1千万円強の予算があり、補正は11万円ほどだが、この時点で災害防災無線の検査委託料が補正されるのはどうしてなのか。

答弁 電波法の規定に基づき無線局が法令適合なのか5年に一度検査を行う。検査に対して適合するのか確認通知に基づき、指定業者に補正後確認検査を行ってもらう。

質問二 資源物収集の運搬委託で、新年度予算からの大きな補正予算だが、どうということなのか。

答弁 抑えて予算計上し、実績に応じて増額した。地区で資源ごみを収集されたごみを運搬する委託料。

議案第40号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について



勝屋 弘貞 議員

ふるさと人材育成事業(指定寄付の扱いについて) 質問 図書購入費として指定寄付を活用予定だが、

全額図書館関係で使うというところか。

図書館は市民の情報収集の場であり、資料や設備等を充実させるためにも、年間予算に上乗せするという形で取り扱ってもらいたいと考えるが。
答弁 青少年教育という指定にて寄付を頂戴したものを、ほぼ図書館関

係に使う予定である。エイブルにおいては図書館運営を工夫して取り組んでもらっているところだが、今後の検討材料としたい。

議案第45号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



伊東 茂 議員

質問 今回の補正は、新型コロナウイルス対策追加事業(農林漁業者・中小事業者への事業継続給付金)、ウイズコロナツアー催行

事業への助成のほか、今年8月豪雨災害復旧事業など適時な対応であると評価したい。多くの個人事業者は消費低迷に悲痛な思いでいる。申請された事業者には速やかな給付を求め、観光ツアーは門前商店街や浜宿散策を組み合わせるように要望する。災害復旧事業は緊急性を

要する箇所を最優先し復旧を求める。
答弁 事業継続給付金は受付後10日をめどに振り込み、観光ツアーは門前商店街、酒蔵通り、道の駅などを盛り込む。災害復旧はスピード感を持って取り組む。

議案第45号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



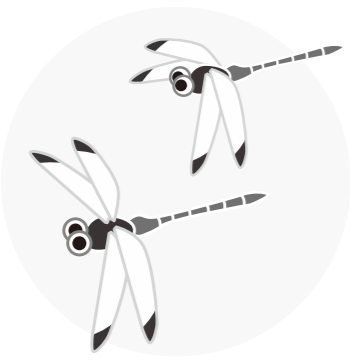
徳村 博紀 議員

中小事業者事業継続支援給付金 質問一 商工業振興費の緊急経済対策事業継続支援事業について佐賀県が

第三次佐賀型中小事業者応援金の交付を始められたが、市の対象要件で解釈しづらい文章がある。県と同じと解釈してよいのか。また、受付期間は

答弁 交付額は県と市では違うが、対象要件については県は令和三年九月二十九日から十一月三十

日まで。鹿島市は令和三年十月十四日から十二月十日までである。
質問二 利用してもらったための政策なので市内に行き渡るように広報していただきたい。
答弁 そのように努めたいと思う。



一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、9月28日、29日、10月1日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【9月28日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員
池田 廣志 議員
杉原 元博 議員

【9月29日】



中村日出代 議員
中村 和典 議員
中村 一堯 議員

【10月1日】



松尾 勝利 議員
稲富 雅和 議員
松田 義太 議員

安心して子どもを育てられる市政を



ファミリーサポート事業 利用料金の補助について

松尾 征子 議員

質問一 子育て支援の一つとして、子育ての援助ができる人が会員になって助け合うファミリーサポート事業が取り組まれている。

会員数と利用状況は。

答弁 令和二年の実績で受けた人百十二人、援助できる人六十八人、利用件数一七件。

質問二 あまりにも少ない。問題は制度が市民に徹底されていない。

さらに利用料金の問題にある。近隣市町では、料金への補助や優遇措置がされている。鹿島市でも、補助制度などにより利用料金の見直しをして、



誰もが安心して預けられるようにすること。
答弁 利用をいかに上げていくか課題と考えている。

保育所での宣伝や三分無料券の配布など取り組んできた。結果は伸び悩んでいる。ニーズの高い送迎サービスにも取り組むたいと考えている。利用料金の補助も考えていく時期にきている。検討していきたい。

コロナ発生時の 園の対応は

質問一 保育園において

長期・短期休園になるが、保育料・副食費に関しては減額すべきと思うがどのようにしているのか。

答弁 国からも仕組みとして通知が来ている。

保育料も副食費も同様減額をお願いしている。

質問二 保護者が感染して隔離されたとき子供だけ残されることがある。

その時の子供の面倒は誰が見るのか。

答弁 保護者が感染した場合、保健所が保護者と協議して知り合いなどにお願ひして隔離してもらう。

世話する人がいないときは保健所が児童相談所などを通じて保護をしている。

鹿島市の水道事業の今後について



福井 正 議員

質問一 全員協議会の場で、水道の水源地で水道水が減少傾向にある井戸があるとの説明があったが、減少原因を調査したのか。

答弁 まだ調査していないが、ボーリング調査する予定。

質問二 久保山浄水場の送水ポンプが1基故障とのことだが、もう1基故障の場合、配水をどうするのか。

答弁 故障のポンプは修理して動いている。もし故障の場合は蟻尾山配水池から給水する。

質問三 中木庭ダムは鹿島市の水道利用も考慮して建設された。将来、水道利用の考えがあるのか。



中木庭ダム

答弁 当面、地下水を利用するが、井戸の新規開発が認められていないので、井戸水が配水困難な時を考慮して、安定給水のため、ダム水の利用もありうる。

質問四 最近の水道決算は黒字が続いている。今後、人口減少や水道管布設替え等で経費増の場合水道料金の値上げがあるのか。

答弁 現在、黒字であるが、5年ごとの財政状況見直しによっては、料金値上げもありうる。

鹿島市の子供たちの 生活実態について

質問一 令和2年度の武雄市の子供たちの生活実態調査によると、48%が生活困窮世帯で、うち児童扶養手当は95%、就学援助は35・6%が受給されている。

鹿島市の実態はどうか。
答弁 鹿島市の25%が生活困窮家庭で、児童扶養手当を受給されている。就学援助は16%である。

質問二 鹿島市でも福祉協議会と食生活改善推進協議会で子供たちに食事を提供する事業が9回行われた。予算は日赤の支援30万円、調理と配食は食改協やボランティアの方々で行われ、好評だった。今後の食事提供事業の取り組みは。
答弁 フードバンクは社協とボランティアでコマや缶詰を提供する事業が行われている。鹿島市としても支援していきたい。

コロナ後の鹿島市の観光事業の振興について



池田 廣志 議員

情報発信している。
質問三 宿泊した観光客に有明海周辺の島原、天草、大牟田、柳川、阿蘇を周遊させると、魅力的な広域観光地として市内観光客も増えるのでは。

質問一 祐徳稲荷神社の観光客は年々増加し、二年前、388万人となっていたのに、参拝を30分で終え、門前商店街にも寄らずにバスで帰る観光客を市内観光に生かしていないのでは。

質問二 コロナ禍で、観光客が4割減少したために、ゆうとく庵の市職員がクラシックカーや狐の嫁入り、テレビアニメを開催したが取り込めなかった。

質問三 奥平谷キャンプ場は、あまりにも荒れており、改修計画は。

質問二 「自然の館」と同じ目的の施設を持つ佐賀市は民間会社に指定管理し、その管理者が東京の民間会社と組み、地元産物のみを食材に使う取り組みをしている。
質問三 福岡県那珂川市

観光情報「サガ3歩」で、観光協議会を立ち上げ、観光情報「サガ3歩」で、

新市民会館を多くの 方に利用して頂くために

質問一 皆が利用したくなる施設を整備すべきで、今の中川公園では、子供達が安心して遊べない。そこで、大人の目も届き、子育て中の親たちも安心できる新市民会館周辺を整備するべきではないか。
答弁 来年度のオープンを目指し、エイブルと機能的な連携を図り、古枝の民俗資料館を移設する。中川公園は都市公園法等で規制があるので、最適な場所を検討したい。

一般質問

新型コロナウイルスワクチン接種について



杉原 元博議員
質問一 最新のワクチン接種状況を聞く。

答弁 9月26日時点で2回接種を終えられた人数は16114名。接種率は60・3%。

質問二 鹿島市は59歳以下の接種が遅れているように思う。周辺市町との比較は。

答弁 県内10市の内で、割と早く64歳以下の接種券発送を行なっているA市との比較で、2回目までの接種率は12〜15歳で4・7%、16〜64歳で1・6%それぞれA市が高い。65歳以上では鹿島市の方が2・3%高い。

質問三 59歳以下の接種率がなぜ低いのか、市民の皆さんが納得できるような情報発信を。

答弁 鹿島市は59歳以下の接種券発送を計画的に

遅らせている。高齢者や基礎疾患のある方の接種を確実に完了するように配慮したことも若い世代の接種が遅れている要因と考える。

質問四 接種会場の運営や予約体制等の課題や問題点があれば伺う。

答弁 8月に入りワクチン分量が急激に減り、集団・個別とも予約枠をこれまでの半分に変更したため、ご迷惑をおかけしている。

質問五 今後のワクチン接種予定と接種率の見通しについて伺う。

答弁 10月13日で集団接種を終了。以降は医療機関での接種となる。希望される全ての方へ接種できるように医師会と協議対応する。最終的な接種率は80%を超えると推察する。

通学路の安全対策について
質問一 千葉県八街市の路上で、下校途中の児童

5人がトラックにはねられ2人の児童が亡くなった。学校現場では登下校時にどのように注意指導されているのか尋ねる。

答弁 日頃の交通安全指導では、車のそばで遊ばないなど基本的なことから、学区ごとの通学路で気を付ける場所の注意を促している。また、長期休みの前や、学校に關連した事故の報道の際は、さらに交通安全を徹底している。

質問二 道路上の白線が消えかかっている所が多く、事故に繋がる可能性が否定できない。通学路の日常点検や交通事故の危険性がある場所の点検について尋ねる。

答弁 PTA役員や保護者など地元の方からも意見をいただきながら各学校で通学路の点検を行い、市教委が主催する通学路安全推進連絡協議会へ要望をあげ対策に繋げている。

平和継承之礎の維持管理について



中村 日出代議員
質問一 原爆被爆者の会から提出されている2項目の要請への対応について。

答弁 石碑がある鹿島小学校では、これまでも平和学習の中で長崎に原爆が投下された事と学校との繋がりを伝えてきた。今後は各小学校にも「平和継承之礎」の存在を伝えていきたい。また石碑は通常の学校清掃活動の中で整然と環境が保たれるようにしたい。

参考 原爆被爆者の会は、長崎で原爆被害に遭われた方々で結成された会。しかし今年の4月に高齢化のため解散されている。

クラウドファンディングの活用について

質問一 クラウドファンディングとふるさと納税の活用を、現在閉館となっている田澤記念館の維持管理費の寄付募集ができないか。

答弁 これまで田澤記念財団が行っていた寄付の方法なども踏まえて、ふるさと納税やクラウドファンディングの活用も検討したい。

参考 ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングはお礼の品ではなく、寄付金の使い道を決めて寄付を募る方法。

通学路の環境の整備、改善について

質問一 中牟田中央児童公園は解体されているが整備計画はあるのか。

答弁 新たな遊具として小さい子供も利用できるユニバーサルデザイン遊具の設置を考えている。

質問二 ユニバーサルデザイン遊具とは。

答弁 誰もが利用できる遊具で、上り下りしやすい低い階段と2種類の滑り台、アーチ型のブリッジ、コロコロパネル等の複合型遊具の設置を考えている。

質問三 橋本質屋前の水路が深くガードレールも無く危険で、ガードレールか転落防止柵設置の要望が出ているが。

答弁 2年度予算で設置する予定だったが、予算不足で実施できなかった。3年度に設置する。

次期市長選の出馬意向について



中村 和典議員
質問一 来年5月11日に3期目の任期が満了し、4月には市長選挙が行われるが、4期目出馬の意向は。

答弁 現時点では何も決めていない。もうしばらく時間の猶予をいただきたい。

質問二 いつ頃、正式に態度表明をされるのか。

答弁 いつでも決めるのかすべて白紙で、まだ時間があるのでこれから決める。
質問三 市長選・市議補選の選挙日程については。
答弁 前回どおり4月の第3か第4日曜日を考えている。正式には、11月の選挙管理委員会決定する。

国・県九州市長会等に対する政策要望について

質問一 上級機関に対して19件の要望事項を挙げてあるが、合併をしていないが、財政力が乏しく交通インフラも遅れているので、産業3団体である農協・漁協・商工会議所が大同団結する機会を作れないのか。

答弁 まちづくりにとって大事なことはあるが、3団体を束ねることは難しいところもあるので、今後の検討課題としたい。

急傾斜地にある家屋の災害対策について

質問一 県の急傾斜地崩壊防止事業では、人家5戸以上の補助要件を2戸以上に緩和をされるよう要望されているが、土砂崩壊の危険性がある家については、1戸でも市の制度で救済してほしいが。



復旧工事で安全度が増した急傾斜地



急傾斜地被災状況

答弁 自然災害が増加傾向にあるので、まずは県に対して2戸以上の要件緩和をお願いし、市の制度についても検討する。

災害時の無償ボランティア協力企業について



中村 一堯議員
質問一 昨年の豪雨災害では、鹿島市社会福祉協議会や市内の清掃業者、し尿汲み取り業者等のスタッフさんが、鹿島市の復旧復興のために災害ボランティアとして一生懸命活動して下さいました。心から感謝しています。しかし、納得できない点もあります。

鹿島市の職員さんには災害復興のための残業手当(超過勤務手当)総額1500万円が支給され、160名前後の職員に一人当たり8〜10万円の残業手当が配分されました。

一方で、社協や清掃業者、し尿汲み取り業者には市役所職員と同じような仕事をされても人件費や委託料として何も支払

われていません。

コロナ禍の中で、鹿島市社協は昨年度500万円の赤字、し尿汲み取り業者も大変厳しい運営がなされています。

議員や市の職員の給料は毎年見直しが行われており、経済状況などに合わせて改定されます。ボランティア企業さんの好意に甘えるだけでなく、しっかりとした対価をお渡しするべきです。

質問二 昨年は協定の範囲内でボランティア活動をして頂いた。今後は検討します。

し尿汲取り料金の改定について

質問一 前項でも申し上げたが、し尿汲み取り業者の運営が非常に厳しい。鹿島市職員の平均年収630万円(給料、扶養手当、残業代など含む)を元に、し尿汲み取り料金を計算すると(18リットルあたり)314円となるが、現在は県内で最も安い汲み取り料(18リットルあたり)176円に設定されています。

さらに、鹿島市の汲み取り料金については20年以上改定されておらず、他の自治体では3〜5年ごとに見直しされるのが通常です。

このままの状況が続けば、し尿汲み取り業者が倒産し、市民へのサービス低下となるだけでなく、職員給料に合わせた314円近くの料金になる可能性があります。その前に汲み取り料金を上げるべきです。佐賀県の汲み取り料金の平均は214円なので検討すべきだが、どう考えるか。

答弁 今後検討していく。

一般質問

一般質問

令和3年8月の大雨の状況と対応について



松尾 勝利議員
質問一 今年も武雄市など近隣の市町で内水氾濫による浸水被害がでた。その原因の一つに排水機場の停止やトラブルがあげられている。

鹿島市の各排水機場の運転状況はどうだったのか。
答弁 鹿島市での降水量は、昨年とほぼ同じであったが、8月13～14日には、排水機場を24時間以上連続して運転したところもあった。



中村ポンプ場

トラブルについては、オイル漏れや冷却水配管の不具合などがあってはいるが、すぐに対応して大きな支障は出ていない。
質問二 排水機場の作業員の休憩室の環境について、暑くて騒音が大きい

ので改善できないかとの要望がある。
早急に対応できないか。整備している。
地元と協議しながら優先順位をつけて計画的にやりたい。

鹿島市の今後の汚水処理計画について

質問一 公共下水道事業は雨水公共有水道を採り入れる計画の変更があった。そのことで合併浄化槽の設置対象区域が増えた。生活環境の改善の観点からも、合併浄化槽の設置を積極的に進めるべきではないか。

答弁 5か年で300基、年間60基の設置目標で整備を進めている。もし、それ以上の要望があれば次年度の予算を当てる方法で対応したい。

質問二 し尿汲み取り料金について、市にも議会にも見直しの要望が起っている。今後の対応はどうか。

答弁 平成10年から総合的に判断して改定に至っていないが、検討する時期に来ている。
人件費・車両費などと市民生活の実態にも配慮して対応したい。

鹿島市の環境施策について



稲富 雅和議員
質問一 ごみの減量化について第7次総合計画では、さが西部クリーンセンターへ出すごみの減量化10%を目標としているが、ごみの搬入状況についてお伺いする。

答弁 ごみの減量化については、近年異常気象の要因となっているため、プラごみを可燃物として処分する事なく分別回収により資源ごみとして回収している。平成25年度で7880t、5年間で344t増えている。可燃ごみ不燃ごみ粗大ごみは全て増えている。資源ごみは減少している。

質問二 豪雨災害、浸水被害などの自然災害で、被災家屋からの災害ごみの集積所を複数確保の備えが必要だと思うが、考えをお伺いする。

答弁 7ヶ所想定している。初めての設置だったのは令和2年7月の豪雨災害。交通事情、立地条件、廃棄物の量などから、今は使用されていない水道課所管の上水場予定地が好ましいとして仮置き場とした。
災害の規模によって複数設ける必要もあるが、受付人員もたくさん必要とするので、徐々に増やしていくのがいいと思う。

質問三 国が掲げた2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするとの目標を鹿島市も取り組んでいく必要がある。
そこでまず意識付けのために2050ゼロカーボンシティINかしまの宣言の旗揚げが必要だと思

質問二 豪雨災害、浸水被害などの自然災害で、被災家屋からの災害ごみの集積所を複数確保の備えが必要だと思うが、考えをお伺いする。

答弁 7ヶ所想定している。初めての設置だったのは令和2年7月の豪雨災害。交通事情、立地条件、廃棄物の量などから、今は使用されていない水道課所管の上水場予定地が好ましいとして仮置き場とした。
災害の規模によって複数設ける必要もあるが、受付人員もたくさん必要とするので、徐々に増やしていくのがいいと思う。

質問三 国が掲げた2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするとの目標を鹿島市も取り組んでいく必要がある。
そこでまず意識付けのために2050ゼロカーボンシティINかしまの宣言の旗揚げが必要だと思

思うがどう考えているのか。
答弁 カーボンニュートラルは他人事ではない。宣言文もおろそかに出来ない。市民の皆さんに環境ではいろいろ頑張ってもらっている。宣言文は絵に描いた餅にならないように、データを整理し技術部門の進歩も見ながら、と担当課に言っている。
環境省に予算があることが分かったので応募し、令和4年度から実務的な作業をしていきたい。

8月豪雨・コロナ禍による第2次産業への影響について



松田 義太議員
質問一 8月豪雨により大豆を始め農産物に大きな被害があった。市の現状把握、支援策についてお伺いする。

答弁 農協を始め各関係機関と連携して、被害状況の確認をし、今後の対応を検討していきたい。
質問二 農業分野においては、昨年の7月豪雨、そしてコロナ禍の影響等、厳しい環境下にある。今後の経営継続の意思が損なわれる事のない支援策をお伺いしたい。

答弁 農業分野の直面する課題として、高齢化、後継者不足等に加え、コロナ禍、災害被害等ある

ので、担当課としても、支援策を講じていきたい。
質問三 近年の災害において、ため池の管理が重要になっていく。以前から漏水が確認されていた郡山ため池の状況についてお伺いする。

郡山ため池については、漏水調査後、4月に工事を行い、漏水は一度、ほぼ止まっていた。しかし、6月上旬より再度、漏水が始まっている。
質問四 郡山ため池の周辺には民家もあり、防災の面からも早急に対応して頂きたい。

答弁 今年中を目処に再調査を行い、調査結果に基づき、県との協議も含め対応していきたい。
質問五 8月豪雨において、小城市内の排水機場稼働中、操作員の方がお亡くなりなられた。鹿島市は、土地改良区を中心に委託をされているので、再度、補償等の状況、安全操作等の確認

郡山ため池



郡山ため池

をお伺いしたい。
答弁 補償等は整備されているが、再度、関係機関との協議、安全操作等のマニュアルの徹底に努めたい。

新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について

鹿島市は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した農林漁業者及び、売上が減少している市内中小事業者を支援するために給付金を支給します。

対象条件や申請の仕方等、詳細については担当課にお尋ねください。

◆鹿島市農林漁業者事業継続支援給付金の受付をしています。

- ・申請受付期間 令和3年10月15日～令和4年3月10日
- ・給付金額 一律 10万円
- ・問合せ先 市役所2階 農林水産課 TEL 0954-63-3413

◆鹿島市事業継続支援給付金の受付をしています。

- ・申請受付期間 令和3年10月14日～令和3年12月10日
- ・給付金額 1事業者あたり10万円
- ・問合せ先 市役所2階 商工観光課 TEL 0954-63-3412

一般質問

お知らせ

【決算審査特別委員会委員長報告】

本会議において、本委員会に付託された議案第32号から議案第37号までの6議案について、9月16日、17日、21日、22日の4日間にわたり決算審査特別委員会を開催した。

まず、16日に以下の議案関係6カ所の現地調査を行った。
①基盤整備促進事業(西葉地区の水路整備工事)、②③現年発生農地農業用施設補助災害復旧事業(西葉農地)(久保山寺籠水路)、④竹ノ木庭荒平農地道路災害復旧工事、⑤肥前浜宿誘導看板等整備事業、⑥平成30年度から令和2年度西牟田雨水ポンプ場他建設工事委託。

17日より市長、副市長、教育長、担当課職員出席のもと審査に入った。
企画財政課から令和2年度の決算状況と主要施策の成果説明。
一般会計は歳入187億7216万4千円、歳出183億6440万2千円、差し引き4億772万2千円の黒字決算。
公共下水道事業特別会計は総収入10億3806万7百円、総費用9億4176万3千円で、差し引き9629万7千円の純利益。
国民健康保険特別会計は歳入37億1021万9千円、歳出36億6579万2千円で差し引き4442万円の黒字決算。
後期高齢者医療特別会計は歳入4億2542万5千円、歳出4億2409万2千円、差し引き133万3千円の黒字決算。
水道事業会計は収益的収入5億4063万6千円、収益的支出4億1217万4千円、差し引き純利益は1億2846万1千円。

監査委員から6議案に係る決算審査の結果について説明。
「審査に付された歳入歳出決算書及び同附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた」と報告を受けた。

説明後直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各委員からの多項目にわたる質疑があり、22日の質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することとした。

決算審査特別委員会 委員長 勝屋 弘貞

【決算審査特別委員会の経過】

- 9月16日 午前10時開会
主要施策の成果説明書の概要説明、決算審査等の概要説明、現地調査箇所の事業概要説明。
午後より現地調査6カ所。
- 9月17日 午前10時より終日
一般会計歳入歳出決算認定について質疑(総務部ほか建設環境部)
- 9月21日 午前10時より終日
一般会計歳入歳出決算認定について質疑(教育委員会、市民部、産業部ほか)
- 9月22日 午前10時より終日
特別会計4議案一括質疑。水道事業会計質疑後、議案第32号から議案第37号までの一括討論、採決



▲肥前浜宿誘導看板等整備事業



▲竹ノ木庭荒平農地道路災害復旧工事



▲西牟田雨水ポンプ場

令和2年度鹿島市一般会計等決算認定に対する討論

反対討論

杉原 元博議員

令和2年度決算は、過去最大規模の決算となった。新型コロナウイルス感染症防止対策、経済支援、また災害復旧工事、避難所運営など国庫支出金や県支出金、寄付金等の活用でやってこられた点は評価する。

一方、蟻尾山公園の利用状況や市民の皆様からの強い要望があるトイレの問題について全く納得のいく答弁ではなかった。多くの方が利用される蟻尾山公園施設に対する皆様のお声に寄り添っていない。また、肥前浜宿誘導看板等整備事業の回遊誘導サイン設置工事はあまりに高額。設置後、日が浅いにもかかわらず文字が消えかかっている箇所があり、費用対効果の観点からも疑問であり、交通安全の面からも懸念される。

更に、契約金額500万円以上の事業費について、当初契約からの変更が多く、中には1500万円以上増額になった事業もある。限りある財源を有効活用されるよう要望する。

松尾 征子議員

消費税増税、新型コロナウイルス感染症拡大はすべての市民の暮らしと経営を直撃した。

年度当初から市民の暮らしを守るため、税金や水道料金はじめ公共料金の減免等訴えてきた。一部対応はなされたが、市民の要求に添えるものではない。失業、収入の激減は今も続き、市民の暮らしは戻らない。市民の暮らしに思い切った財政投入が必要だった。訴え続けている同和事業については、全く改善されず、今回も活動費丸抱えの許せないものとなっている。

賛成討論

松尾 勝利議員

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症と7月に発生した大雨による災害に大きく影響を受けた年であった。市では、国や県の経済対策に加え、独自の給付金などの支援策により市民生活や産業振興のバックアップをしてこられた。

特に、商工業・観光業については助かつ券・家めし&店のみ事業・ウィズコロナ観光振興事業などに積極的に取り組まれたことを評価する。ただ、指定管理者の管理委託について、業務取り決めの確認の指摘もあっているため、慎重に対応されたい。

福井 正議員

令和2年度決算は、歳入187億7216万4千円、歳出183億6440万2千円の黒字決算となった。新型コロナウイルス感染症と水害に対して、国・県からの交付金や補助金の交付があった。

歳出は会計年度任用職員導入や特別定額給付金等で増加した。また、市単独事業として20%から40%売上減少事業者への給付金、家めし、店のみ事業、買い物クーポン券配布などで、困窮する事業者と市民支援にも取り組まれた。感染症対策や水害被害対策に取り組んだ結果の決算だった。よって、令和2年度議案第32号は全て黒字決算であり、すべての議案に賛成する。



建設が進む新市民会館

【総務建設環境委員会】

令和3年7月13日(火)に国道498号ルート案の現地車上視察とさが西部クリーンセンターの現地視察を行い、その後、令和3年8月4日(水)に市担当課と意見交換会を行いました。

■都市建設課、環境下水道課との意見交換会

とき 令和3年8月4日(水) 午後1時30分～

ところ 全員協議会室

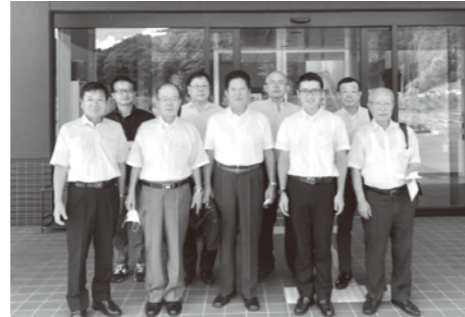
出席者【鹿島市】都市建設課、環境下水道課

【鹿島市議会】中村和典委員長、中村一堯副委員長

中村日出代委員、杉原元博委員、

勝屋弘貞委員、松尾勝利委員、

福井正委員、角田一美委員



【主な意見について (一部抜粋)】

●国道498号ルート案について

委員) ルート案に対する通過自治体の意向はあるか。

市) 期成会の中でルート案を提示した。通過4市からは現道拡幅、浸水想定地区への懸念、ICへのアクセス性の不便さについて意見が出されている。

委員) どのタイミングで構想路線になるのか。

市) 国の見直しのタイミングをキャッチしてその時に要望をする。また、一般広域道路か高規格道路か決まっていない。

委員) 事業主体の県がルート案を示して進めるべきだが、市に提示してもらい感謝している。今後、市が主導していくのか。県から案を出して、1年でも早く実現してほしい。

市) 事業主体の県が主導していく。市としては県を支援していく。各行政区の合意形成が必要。

委員) 市としても新幹線西九州ルート開通に伴う振興策として要望して欲しい。

市) 企画財政課の方から要望している。

委員) 商工団体から強い要望がある。

市) 今後は伊万里、武雄、嬉野と一緒に活動していかないといけない。498号ルート案と現道拡幅は別件である。

委員) 鹿島市議会として要望活動をしてよいか。県がどれから取りかかるのか、その前に市が県に伝えないといけない。

市) 4市一同が期成会で訴えていくのはよいと思う。

●さが西部クリーンセンターの稼働状況について

委員) ゴミが減っていない理由は何か。また、本市はゴミが多い方か？

市) 世帯数の増が、ゴミが減らない要因の一つと考えられる。不燃物も増えている。納富分地区で生ごみの堆肥化をしているが、今後実施率を上げていく。本市の家庭系ゴミは少ないほうである。

委員) クリーンセンターの課題は？

市) 搬入量が予定より多くなっており、粉碎効率の向上と、粉塵を抑えるため、せん断機の導入が課題である。

●し尿汲取手数料に関する要望書について

委員) 他市町との単価の差は何か。また、汲み取り業者の経営は大丈夫か。

市) 単価はそれぞれの市町の事情により異なっている。経営についてはコロナで厳しいと聞いている。改定については原価計算書を出してもらい、4月から協議している。

委員) 本来市の業務であり、原価計算も市ですべきではないか。また、H11年以降改定していないのはなぜか。

市) 公共料金と捉えている。今後は、定期的に協議し、検討したいと考えている。

【文教厚生産業委員会】

令和3年5月に新たな委員で発足した当委員会は、文教厚生産業と幅広い3分野の諸団体と交流し、各分野の課題を市政に生かすべく精力的に活動する計画を立てた。まず6月に佐賀県有明海漁業協同組合鹿島支所との懇談会を持ち、8月には鹿島市PTA連合会との話し合いを計画していたが、8月の盆過ぎに鹿島市にも押し寄せた新型コロナウイルス感染症のため、鹿島市PTA連合会との会合は10月下旬に延期された。したがってここでは、佐賀県有明海漁業協同組合鹿島支所との意見交換会について報告する。

■佐賀県有明海漁業協同組合鹿島支所との意見交換会

とき 令和3年6月29日(火)午前10時～

ところ 全員協議会室

出席者

【漁業協同組合】中島龍運営委員長、中島衛副運営委員長、國廣実運営委員、中村弘昭運営委員、

山下英彦運営委員、谷口一宏運営委員、大隈重信運営委員、峰松輝己運営委員、松本浩次運営委員、

竹下直運営委員、小池政勝支所長、岡英章事業所長、馬郡忠久事業所長、山口香嗣事業所長

【鹿島市議会】樋口作二委員長、稲富雅和副委員長、松田義太委員、松尾征子委員、徳村博紀委員、

伊東茂委員、池田廣志委員、

最初に中島運営委員長の挨拶があり、このところ組合員の減少が続く、ここ2年間では15人も少なくなった影響で、来年4月からは事業所の統廃合を計画しているとの大変厳しい状況報告があった。そのような中で組合員での取り組みでは不可能な部分についての漁業環境改善への支援要望があった。

【主な意見について(一部抜粋)】

○たいらぎ、うみたけ、あさり、サルボウ(赤貝)、あげまきなどの二枚貝が1番減少している。特にここ2年くらいはサルボウがとれず海苔に対して浄化する力がない。

○漁場改善のため毎年海底耕耘を実施しているが、ローラーが老朽化し、また数も少ないので、白石や太良から借りて実施しているが、それでも足りない。

○浚渫の予算は毎年の計上はないと聞いているが、近年の豪雨で干潟の堆積がひどくなって待っておれない。緊急を要するので、国県に補助を要望出来ないか。

○海苔の生産額に地域格差がある。県内では毎年200億円もの水揚げがあるが、鹿島支所では20億円くらいしかない。その中でも七浦地区が色落ちが一番苦しんでいる。

○佐賀市は無利息の国による近代化資金で新品の機械を購入しているが、鹿島では中古の機械しか買えないのに利息が高い。鹿島市として設備投資の利子補給に対して補助をお願いできないか。

○鹿島市独特の海苔をめざそうと、味にこだわって、100枚を焼き海苔・塩海苔に加工しふるさと納税の返礼品にお願いしようと検討中。味の推奨という意味でネーミングは「味推」とした。

○カモの食害ばかりでなく、小羽が海苔の製品に混ざって返品される被害にもあっている。何とか良い解決策はないか。

以上のような様々な課題に対して、話し合いの中でも解決への方向性は示すことができた事案もあるが、ほとんどがすぐには解決できない大きな課題であるので、一般質問で取り上げるとともに、担当部局に対し粘り強く要望していきたい。



海底耕耘用ローラー

衆議院議長 大島理森 様
 参議院議長 山東昭子 様
 内閣総理大臣 岸田文雄 様
 内閣官房長官 松野博一 様
 総務大臣 金子恭之 様
 財務大臣 鈴木俊一 様
 経済産業大臣 萩生田光一 様
 経済再生担当大臣 山際大志郎 様

以上のとおり意見書（案）を提出する。

令和3年10月6日

提出者	鹿島市議会議員	中村日出代
〃	〃	池田廣志
〃	〃	杉原元博
〃	〃	樋口作二
〃	〃	中村和典
〃	〃	中村一堯
〃	〃	稲富雅和
〃	〃	勝屋弘貞
〃	〃	伊東茂
〃	〃	松尾勝利
〃	〃	徳村博紀
〃	〃	福井正
〃	〃	松尾征子
〃	〃	松田義太

鹿島市議会議長 角田一美 様

意見書第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年10月6日

佐賀県 鹿島市議会

議会あれこれ (令和3年7月～10月)

7月

- 5日 佐賀県後期高齢者医療広域連合7月臨時議会
- 6日 議会だより編集委員会
- 8日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時議会
- 12日 議会だより編集委員会
- 13日 議会だより編集委員会
総務建設環境委員協議会 現地視察
文教厚生産業委員協議会
- 19日 文教厚生産業委員協議会
まちづくり対策特別委員協議会、
公共交通対策特別委員協議会
ICT活用推進プロジェクト委員協議会
- 29日 議会運営委員会

8月

- 2日 全員協議会
タブレット端末操作議員研修会
- 4日 総務建設環境委員協議会
- 10日 ICT活用推進プロジェクト委員協議会
- 16日 市議会災害対策本部会議
- 18日 議会運営委員会
- 24日 タブレット型端末操作議員研修会
全員協議会
- 25日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
- 26日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 27日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会8月定例会

9月

- 1日 議会運営委員会
- 3日 9月定例会 開会 議案の上程(～10月6日)
全員協議会
議会だより編集委員会

9月

- 9日 全員協議会
9月定例会
議案審議 質疑、討論、採決(～10日)
- 16日 決算審査特別委員会(現地調査)
- 17日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 21日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 22日 決算審査特別委員会(特別会計、公営企業会計)
ICT活用推進プロジェクト委員協議会
- 28日 9月定例会 一般質問(～29日)

10月

- 1日 9月定例会 一般質問
全員協議会
- 6日 9月定例会
委員会報告、議案審議、質疑、討論、採決 閉会
全員協議会

新型コロナウイルス感染拡大により、
行政視察受入は、ありませんでした。

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

編集後記

昨年の7月豪雨災害箇所の復旧も終わらないうち、今年は8月の大雨による災害が発生しました。近隣市町に比べると災害の規模は大きくなかったものの、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、第5波が落ち着きを見せたとはいえ、これから年末にかけて予断を許さない状況が続くと思われます。コロナ禍を機に、我が国のデジタル化の立ち遅れが指摘され、国はデジタル庁を設置してICT(情報通信技術)活用を推進しています。鹿島市議会でも以前からICT活用の一環として、タブレット型端末導入の必要性を訴えてきましたが、時代の流れを背景に8月から議員一人一台の導入が実現しました。

これにより、8月の大雨災害時は市と議員の間で、被災箇所や避難所の情報をリアルタイムで相互にやり取りしたり、9月議会では大量の紙資料をタブレット型端末に保存して効率的に活用したりすることができました。

私たちの議会活動の利便性が向上したとはいえ、今回のタブレット型端末導入は、議会のICT活用のスタートに過ぎず、今後、議会としていかに有効活用できるかということが問われることとなります。終わりの見えないコロナ禍と毎年のように発生する大規模な自然災害。議会活動においてもICTを最大限活用しながら、市民生活にとって最も大切な安全安心をいかに守っていくのかを念頭に、市民の声が市政に反映されるよう議員一同努力してまいります。

編集委員長 中村 一莞
編集副委員長 松尾 勝利
編集委員 松尾 征子
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。